

『飛翔』-Hisho

『飛翔』は毎年年度末に発行している、広島大学総合科学部(総科・そうか)の公式広報誌です。現在は第102号の発行に向けて制作活動中です。

多方面で活躍している総科の先生方や学生の紹介、インタビュー記事、各号ごとのオリジナル企画など、様々な読者層を想定して作成しています。

このチラシは、オープンキャンパスに参加された皆さんに、総科と『飛翔』の魅力を伝えたいという思いで制作しました。クロスワードやバックナンバーへのリンク、裏面には総合科学部の先生方の紹介もありますので、ぜひご覧ください！

昨年度発行『飛翔』第101号



『飛翔』は学生編集委員が制作しています。

現在、学部1年生から3年生まで、総合科学科と国際共創学科の学生合わせて約30名で活動しています。企画を考えるとところから、取材、編集・デザインまで、全て学生で行っています。総科生同士が交流できる場でもあり、活躍する総科の先生方や学生からじっくり話を聞くことができたり、貴重な「出版」の経験ができたりするのが活動の魅力です！

活動の様子を投稿中!

※飛翔や総合科学部について聞きたいことがあれば、飛翔のInstagramアカウントから気軽に質問してください!



HISHO_IAS_IGS

バックナンバーはこちらから!

(学部HPへのリンク)



※のマスに文字を並び替えると ...

ひろだいそうかは
「○○○○○○○○」。

1	2			11	12		13
				※			
3			9				
		10			14	18	
		※					
4				※			
5	※					19	20
							※
		15		16	17		
				※			
6	7						
8					21		
		※					

■クロスワード タテのヒント

1. 総合科学科と国際共創学科がある学部は？
2. タコやイカが危険を感じた時に吐くもの
7. 不老長寿の象徴とされる針葉樹
9. 冷凍された野菜
10. ずっと居たくなるような場所を「○○が良い」と言ったりします。
11. 優雅で洗練された雰囲気のある人を「○○が良い」とか「○○がある」と言ったりします。
12. 総合科学科には人間探究領域、自然探究領域、○○探究領域があります。
13. ○○布団は寒い冬に重宝します。
16. 魚を捕ること
17. 水たまりを英語で
18. 朝鮮半島の北部にかつて存在した、百済や新羅とともに朝鮮の三国時代を形成した国家です。
20. ○○探究領域には、言語コミュニケーション授業科目群、スポーツ健康科学授業科目群、○○行動科学授業科目群、○○文化授業科目群がある。

ヨコのヒント

1. 2 が唯一の偶数である、1 とその数以外では割り切れない数のこと
3. 青くて広いです
4. 意識がはっきりしない時に口走ること
5. 国際共創学科には文化と○○という視点があります。
6. 寝不足だと目元にできます。
8. 自然探究領域には○○科学、生命科学、数理情報科学、自然環境科学の4つの授業科目群があります。
9. 連日○○
10. 桜田門外の変では○○直弼が討たれました。
11. 総合科学部公式の広報誌、皆さんの役に立つ情報もたくさん載っています。
14. 上昇の逆
15. 喜劇王と呼ばれた人物
19. 固、団、困などの漢字の部首は○○がまえです。
21. 金属に彫刻すること

総合科学部の教員紹介

Introduction of Academic Staff
School of Integrated Arts and Sciences

- ①高校時代の部活動／学生時代の夢／休日の過ごし方
- ②研究内容(学問)
- ③研究内容の魅力
- ④高校生の皆さんにメッセージ

■続きのページは右側の2次元コードからWeb上で閲覧可能です！



学部長

山田俊弘 先生

Dr. YAMADA Toshihiro



- ①文字を書いたり、読んだりしています。
- ②自然を理解し、自分の言葉で伝える仕事
- ③広島大学界限では、ハチクというタケが景気よく咲いています。120年ぶりだそうです。咲いたら、竹林は枯れちゃいます。一方で、種子はできません。実は、死んだと見せかけてだけで、地下部分からじわじわと時間をかけて竹林が再生するのです……。じゃあ、咲かなくていいじゃん!? ていうことは、ハチクは永遠の命を手に入れている? ハチクには聞かないといけなことがたくさんあります。生物学者として、120年に一度のチャンスに、タケの開花の意義に迫りたいと思っています。
- ④世界が何かを知りたい。50になってもわからないからです。先人たちの知恵を借りながら(本を読んだりすること)、死ぬ頃には少しはましな答えを持ち得るように、毎日勉強しながら、知恵を磨きたいと思っています。

副学部長 - 学士課程教育担当

田中亮 先生

Dr. TANAKA Ryo



- ①剣道部
- ②健康福祉学、中高齢者の健康増進
- ③健康福祉学は、人々が心も体も元気に生きていくために必要な知識を学ぶ学問です。加齢や病気による体の変化を理解し、運動や栄養、生活習慣の工夫を通じて健康を守る方法を探ります。誰もが安心して暮らせる健康長寿社会を実現するために、人を支える力を育む学びです。
- ④さまざまな学問を横断しながら、深く考え、新たな視点で世界を見つめる力を育てるのが総合科学部です。枠にとらわれず、探究心で課題に挑みたい人、自分の考えを発信し、国際的に活躍したい人を歓迎します。

副学部長 - 国際共創学担当

フンクカロリン 先生

Dr. FUNCK Carolin

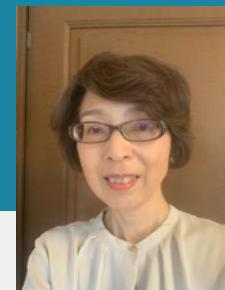


- ①自転車やハイキング等、自然の中で過ごすのが好きです。
- ②人文地理学で、観光を研究しています。
- ③観光は私たち人間にとって新しい視点や癒しを与えてくれます。同時に地域にも大きな変化をもたらします。また絶えず変化していく現象ですので様々な視点から調べることが大変面白いです。
- ④観光は日常生活を離れることを意味しています。それは自分の視野を広げるためにとっても重要なことですので積極的に旅行に出かけることをお勧めします。

副学部長 - 総合科学担当

坂田桐子 先生

Dr. SAKATA Kiriko



- ①中学から高校まで、軟式テニス部に所属
- ②リーダーシップ、ジェンダーの社会心理学
- ③「どうして社会には女性のリーダーが少ないのだろう」という素朴な疑問から始まった研究ですが、モヤモヤした日常的な疑問が解消される点、集団の運営や対人関係にとって有益な知識が得られる点が魅力です。
- ④自分を型にはめてしまわずに、さまざまな分野に挑戦してみてください。実際に体験してみると、自分が思っていたイメージと違った面白さに気づくことがありますよ。

総合科学部の教員紹介

Introduction of Academic Staff
School of Integrated Arts and Sciences

- ①高校時代の部活動／学生時代の夢／休日の過ごし方
- ②研究内容(学問)
- ③研究内容の魅力
- ④高校生の皆さんにメッセージ

■総合科学部国際共創学科(IGS)の教員紹介は右側の2次元コード(学部パンフレットへのリンク)からご覧いただけます。



学部長

山田俊弘 先生

Dr. YAMADA Toshihiro



- ①文字を書いたり、読んだりしています。
- ②自然を理解し、自分の言葉で伝える仕事
- ③広島大学界限では、ハチクというタケが景気よく咲いています。120年ぶりだそうです。咲いたら、竹林は枯れちゃいます。一方で、種子はできません。実は、死んだと見せかけてだけで、地下部分からじわじわと時間をかけて竹林が再生するのです……。じゃあ、咲かなくていいじゃん!? ていうことは、ハチクは永遠の命を手に入れている? ハチクには聞かないといけなことがたくさんあります。生物学者として、120年に一度のチャンスに、タケの開花の意義に迫りたいと思っています。
- ④世界が何かを知りたい。50になってもわからないからです。先人たちの知恵を借りながら(本を読んだりすること)、死ぬ頃には少しはましな答えを持ち得るように、毎日勉強しながら、知恵を磨きたいと思っています。

副学部長 - 学士課程教育担当

田中亮 先生

Dr. TANAKA Ryo



- ①剣道部
- ②健康福祉学、中高齢者の健康増進
- ③健康福祉学は、人々が心も体も元気に生きていくために必要な知識を学ぶ学問です。加齢や病気による体の変化を理解し、運動や栄養、生活習慣の工夫を通じて健康を守る方法を探ります。誰もが安心して暮らせる健康長寿社会を実現するために、人を支える力を育む学びです。
- ④さまざまな学問を横断しながら、深く考え、新たな視点で世界を見つめる力を育てるのが総合科学部です。枠にとらわれず、探究心で課題に挑みたい人、自分の考えを発信し、国際的に活躍したい人を歓迎します。

副学部長 - 国際共創学担当

フンクカロリン 先生

Dr. FUNCK Carolin



- ①自転車やハイキング等、自然の中で過ごすのが好きです。
- ②人文地理学で、観光を研究しています。
- ③観光は私たち人間にとって新しい視点や癒しを与えてくれます。同時に地域にも大きな変化をもたらします。また絶えず変化していく現象ですので様々な視点から調べることが大変面白いです。
- ④観光は日常生活を離れることを意味しています。それは自分の視野を広げるためにとっても重要なことですので積極的に旅行に出かけることをお勧めします。

副学部長 - 総合科学担当

坂田桐子 先生

Dr. SAKATA Kiriko



- ①中学から高校まで、軟式テニス部に所属
- ②リーダーシップ、ジェンダーの社会心理学
- ③「どうして社会には女性のリーダーが少ないのだろう」という素朴な疑問から始まった研究ですが、モヤモヤした日常的な疑問が解消される点、集団の運営や対人関係にとって有益な知識が得られる点が魅力です。
- ④自分を型にはめてしまわずに、さまざまな分野に挑戦してみてください。実際に体験してみると、自分が思っていたイメージと違った面白さに気づくことがありますよ。

人間探究領域
人間行動科学授業科目群

小川景子 先生
Dr. OGAWA Keiko



- ①演劇部
- ②ヒトの認知について脳活動を使って研究しています。
- ③一番長くしているのが夢の発生メカニズムの研究です。夢は形がないけれど多くの人がみる不思議な現象です。それを解明できたら面白いと思い研究を始めました。夢はレム睡眠中の生理活動から生まれ、記憶や感情が反映されます。具体的には、寝前の感情を基に記憶がスクラップ&ビルトされて作られていると考えています。他にも学生さんと一緒に日常をヒントに認知や意識に関する研究も行っています。とてもワクワクします。
- ④希望や夢がたくさんある反面、不安も多く、追いつめられることも多々あるのではないかと思います。進んでみてください。必ず開けるので大丈夫。と自分にもよく言っています。つまり、一人じゃないってことです。

人間探究領域
言語コミュニケーション授業科目群

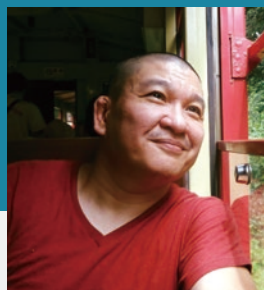
山根典子 先生
Dr. YAMANE Noriko



- ①映画、ダンス、猫カフェ、簡単に作れそうな料理のレシピに挑戦。
- ②言語学、音声学、音韻論
- ③音声は言語の中核にあると言われています。文字からでは伝わらない意味が音声で伝わり、文法と同様に音声にも規則があります。声には、話し手の感情や身体の動きも反映されます。私たちの研究では、声のメロディーやイントネーションと、舌、唇、顔、手の動きなどを可視化することで、その背後にある心や身体とのつながりを明らかにしています。言葉は単なる音の連なりではなく、人間の内面や動作と密接に結びついているのです。
- ④人間らしい声の「深み」や「リアルさ」とは？性別、年齢、出身、経験とことばの変化は？ことばの不自由さに向き合う医療・臨床の世界や、AIの音声をつくる工学の世界とともつながる、やりがいのある研究分野です。

人間探究領域
人間文化授業科目群

辻輝之 先生
Dr. TSUJI Teruyuki



- ①ラグビー部
- ②移民の宗教: 市民参加と共生への道
- ③日本をはじめ世界中で、コロナ禍以降、ソーシャル・ディスタンスの規範化や自国民優先のナショナリズムの台頭で移民をはじめマイノリティに対する排除が助長されています。その中でも宗教は、特に、差別の誘因になりやすく、平等や社会公正を阻害しています。共生を実現するためには、ステレオタイプや先入観ではなく、実に基づいた対話と相互理解が必要となります。私の研究も微力ながら貢献できればと思っています。
- ④一つは、問いと問う力の重要性を意識すること。もう一つは、自分で自分の力を評価しないこと。この2点を念頭に、恐れず、自らの考えを周りと共有し、考えの異なる人と対話して欲しい。

人間探究領域
スポーツ健康科学授業科目群

上泉康樹 先生
Dr. UWAIZUMI Kouki



- ①サッカー部
- ②スポーツ哲学・スポーツ倫理学
- ③スポーツを人文社会科学の観点からより深く理解できること。
- ④自分の夢から逆算して今できることへ積極的にチャレンジしてほしい。

■各授業科目群から1名の先生方をご紹介します。
■総合科学科人間探究領域の教員一覧は右側の2次元コード(学部HPへのリンク)からご覧いただけます。



自然探究領域
自然環境科学授業科目群

竹田一彦 先生
Dr. TAKEDA Kazuhiko



- ①陸上部で長距離をやっていました
- ②環境中の様々な物質の計測法の開発
- ③環境中には様々な物質がありますが、それらが地球上のどこで発生して、どこへ移動するか、つまり物質循環を明らかにすることが地球環境を考える上で大切です。そこで環境化学的に重要な物質を計測する必要があります。計測が容易な物質もありますが、測定が難しい物質もあります。私たちは物質を測定する分析化学の立場から環境化学に挑戦しています。最近はいくつかの農業やプラスチックの関連物質をターゲットに研究しています。
- ④自分は何をやりたいか、何に興味があるのか、そこをしっかりと考え、知識・技術の習得(学習)をしましょう。この時やりたいことの周辺だけではなく、広く学習することが将来の視野を広げる上で重要になると 생각합니다。

自然探究領域
数理情報科学授業科目群

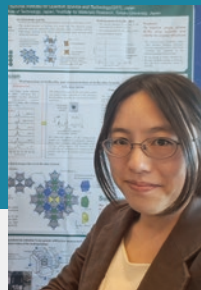
稲垣知宏 先生
Dr. INAGAKI Tomohiro



- ①美術部で絵画、レリーフや織り物等の作品を制作していました。
- ②素粒子宇宙物理学、情報教育など
- ③宇宙の開闢から終焉まで、この世界の全てを理解すべく、日々、研究を進めています。特に、アインシュタインの一般相対性理論と素粒子の標準模型では説明のできない宇宙規模の現象を記述可能なモデル作り、提案したモデルの検証可能性を、国際的なネットワークの下で検討しています。また、研究で用いる最新の情報技術が、我々の社会をどのように変えていくかについても注目しています。
- ④日々の生活の中で感じたこと、素朴な疑問といったものを大切にしましょう。なぜだろうと思ったことと真剣に向き合い、考えていく中から、興味深いアイデアが生まれると最高です。

自然探究領域
物性科学授業科目群

中平夕貴 先生
Dr. NAKAHIRA Yuki



- ①空手道部に所属していました。得意技は追い突きと中段回しです。
- ②金属水素化物の結晶構造とその特性
- ③水素は電子1つ陽子1つからなる最も小さな原子で、単体金属や合金中に侵入・拡散し、金属元素と結合することにより金属水素化物を形成します。水素化物の中には温度を上げることにより水素を放出するものもあり、水素エネルギー貯蔵材として注目されています。私は水素化する前・途中・後の結晶構造の違いを調べることで、その合金がどのように水素を吸蔵および放出するかを明らかにすることを目的として研究しています。
- ④この道に進んだきっかけは、大学で恩師と結晶構造と出会ったことです。ぼんやりとでも、この人の元で学びたい、これについてもっと知りたいと感じたとき、それを突き詰めることができるのが大学生という立場です。

自然探究領域
生命科学授業科目群

石原康宏 先生
Dr. ISHIHARA Yasuhiro



- ①料理人になるのが夢で、調理師専門学校への進学も考えていました。
- ②環境医学
- ③微粒子や化学物質、温度など、環境因子の生体への影響を調べています。最近、「発達神経毒性研究」に特に力を入れており、環境中化学物質が胎児期や新生児期の脳にどのような影響を与えるか、また、その影響の予防方法を明らかにするべく研究を進めています。私たちのような基礎研究者だけでなく、医師や行政など、様々な立場の方と協調しながら研究を進めています。
- ④価値観が多様化している現代ですが、心地よい人間関係を築くことが豊かな暮らしに繋がると思います。ヒト(同級生だけでなく)との繋がりを大切に過ごしてほしいと思います。

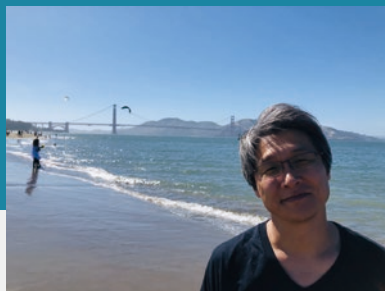
■各授業科目群から1名の先生方をご紹介します。
■総合科学科自然探究領域の教員一覧は右側の2次元コード(学部HPへのリンク)からご覧いただけます。



社会探究領域
地域研究授業科目群

崔真碩 先生

Dr. CHE Jinsoku



- ①子供と公園で遊ぶ
- ②韓国文学、文学、韓国文化、韓国語。
- ③「我思う故に我在り」ではなく、他者と共に在る故に我在り。
韓国と共に在る故に日本在り。
韓国文化に出会うと、韓国のみならず、日本そしてアジアさらには世界が見えてきます。
地に足付けて、世界が広がります。
日本にとって韓国はとても大切な他者なのです。
- ④学問は最高の遊びである。
クソつまらない受験勉強を終えたら、大学で学問を遊びましょう。

社会探究領域
現代社会システム授業科目群

中尾麻伊香 先生

Dr. NAKAO Maika



- ①ベストセラー作家
- ②科学史、原爆の歴史、核の文化史
- ③人々が、原爆や放射能をどのように認識してきたか、科学者の認識や報道、小説や映画における描写まで、検討しています。これまで知られていなかった歴史の側面を掘り起こすことで、さまざまな発見や気づきがあることが研究の醍醐味です。研究をとおして歴史上や現在の人や考え方に会い、つながることができることも、魅力です。
- ④たくさん学んで、世界を広げてください。自分の好きなことをつきつめられるとよいですね。何かに熱心に取り組んだり、苦労したことは無駄にはならず、人生の糧となると思います。

社会探究領域
越境文化授業科目群

横山尊 先生

Dr. YOKOYAMA Takashi



- ①小学生の卒業アルバムに「軍事評論家」と書きました。
- ②日本近現代史、知識の政治社会史、医療社会史。
- ③お酒が好きなのに日本の禁酒運動を研究しています。1919年成立の全米禁酒法は、酒類の製造や販売を禁じて悪名高い。実は日本でもそんな米国を理想に感じる人々が明治期から運動をしました。1922年の未成年者飲酒禁止法(20歳未満の飲酒禁止)の成立も禁酒運動が影響し、運動は大正・昭和戦前期に様々な地域・職域に支持者を挙げました。私は、一連の運動がどう展開し、現在の酒をめぐる規範にどう影響したかを解明しようとしています。
- ④本をたくさん読んで大学にきてほしいですね。小説などいいのですが、おすすめは皆さんが面白そうに見える学問的テーマを扱った新書・選書です。それがきっかけで、大学で勉強したいことが見つかるかもしれません。

社会探究領域
社会フィールド研究授業科目群

長坂格 先生

Dr. NAGASAKA Itaru



- ①水泳部
- ②文化人類学、移住研究、フィリピン地域研究
- ③現在は、国際移住をした東南アジア出身者を対象として、様々なケアの実践を通して、家族などの親密な関係がどのように再編成されるのかについての共同研究をしています。東南アジアの人々の家族関係の再編成や親密な関係性の創出のあり様を、人の移動とケア実践、少子高齢化といった人口変動との関連で調査し、比較検討していくことで、現代世界に生きる人々の親密なつながりが持つ潜在力と課題を探究していきたいと思っています。
- ④私は高校生のときにスタディツアーでフィリピンを訪れ、東南アジアに関心を持つようになりました。学校内外での勉強や読書、活動を通して、みなさんが色々なテーマに出会うことを期待しています。

